

地方創生特別委員会

企画調整部企画課

浜松市総合戦略について

◆ 資 料 ◆

- 資料 1 2023 年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）
- 資料 2 第 2 期総合戦略の評価
- 資料 3-1 次期総合戦略の策定の考え方について
- 資料 3-2 人口の現状について
- 資料 3-3 若者からの意見収集について
- 資料 4-1 「地方創生 10 年の取組と今後の推進方向」の概要
- 資料 4-2 新しい地方経済・生活環境創生本部（新地方創生本部）について
- 資料 5 2024 年度第 1 回浜松市“やらまいか”総合戦略推進会議について
- 参考資料 1 浜松市若年層アンケート調査の結果（速報値）概要について
- 参考資料 2 意見交換会における市内在住大学生の主な意見

2023年度デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)

資料 1

1 2023年度事業費

(単位:千円)

No.	事業の名称	総事業費 (R5決算)	財源		
			国交付金	その他	一般財源
①	地域資源とデジタル技術で世界とつながる、「稼ぐ」都市づくりプロジェクト	113,216	50,285	0	62,931
②	デュアルモード社会における「関係人口の拡大・創出、移住定住促進」プロジェクト	17,956	7,153	0	10,803
③	誰一人取り残されないインクルーシブ社会実現プロジェクト	8,574	3,454	0	5,120
④	Local Coop構想を活用した共助による地域づくりプロジェクト	6,600	3,300	0	3,300
合計		146,346	64,192	0	82,154

2 KPIの達成状況

No.	事業の名称	指標の名称	事業開始前	項目	2023年度
①	地域資源とデジタル技術で世界とつながる、「稼ぐ」都市づくりプロジェクト 【計画期間】 2021～2023年度 【主な事業】 ・インバウンド推進事業 ・スタートアップ推進事業	外国人延べ宿泊者数 (2021～2023年度)	5千人	目標	400千人
				実績	111千人
				評価	達成せず
		首都圏から誘致したスタートアップ数	4件 (社/年)	目標	10件
				実績	14件
				評価	達成
		スタートアップの創業数	24件 (社/年)	目標	27件
				実績	25件
				評価	達成せず
		市内企業に対するファンドの年間投資額	5,616 百万円	目標	2,000百万円
				実績	5,371百万円
				評価	達成
②	デュアルモード社会における「関係人口の拡大・創出、移住定住促進」プロジェクト 【計画期間】 2021～2023年度 【主な事業】 ・ハマライフJU・オン・デマンド事業 ・総合戦略推進事業トライアル逆参勤交代実施	ワーケーション体験実施者数	0人	目標	50人
				実績	-
				評価	-
		浜松移住センターの延べ相談件数(中山間地域への移住相談を含む)	840件	目標	1,500件
				実績	1,846件
				評価	達成
		体験ツアー実施回数	0件	目標	10件
				実績	-
				評価	-
③	誰一人取り残されないインクルーシブ社会実現プロジェクト 【計画期間】 2023～2025年度 【主な事業】 ・インクルーシブスポーツフェスティバル開催事業 ・外国人メンターによる就労・企業促進事業 ・外国人留学生ジョブマッチング支援事業	静岡県内での外国人留学生就職率	34.0%	目標	35.0%
				実績	21.5%
				評価	達成せず
		パラスポーツへの興味度	33.9%	目標	34.9%
				実績	42.9%
				評価	達成
		成人の週1回以上のスポーツ実施率	50.0%	目標	55.0%
				実績	54.0%
				評価	達成せず
④	Local Coop構想を活用した共助による地域づくりプロジェクト 【計画期間】 2023～2025年度 【主な事業】 ・Local Coop構想検討事業	住んでいる地域が住みやすいと思う人の割合(天竜区)	36.4%	目標	44.9%
				実績	40.8%
				評価	達成せず
		アナログ・デジタル両面において本プロジェクトに参画する人数	0.0人	目標	85人
				実績	44人
				評価	達成せず
		貸付事業を活用した企業件数	0件	目標	-
				実績	-
				評価	-

第 2 期総合戦略の評価

目 次

「基本目標」及び「数値目標」	1
基本目標Ⅰ 若者がチャレンジできるまち	3
Ⅰ-1 地元産業力の強化	4
Ⅰ-2 労働供給力の開拓	11
基本目標Ⅱ 子育て世代を全力で応援するまち	13
Ⅱ-1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	14
Ⅱ-2 「創造都市・浜松」を担う次代の育成	19
基本目標Ⅲ 持続可能で創造性あふれるまち	23
Ⅲ-1 安全・安心なまちづくり	24
Ⅲ-2 にぎわいの創出	29
Ⅲ-3 支えあいによる地域社会の形成	37
Ⅲ-4 コンパクトでメリハリの効いたまちづくり	44
Ⅲ-5 持続可能な都市経営	47

「基本目標」及び「数値目標」

基本目標Ⅰ 若者がチャレンジできるまち

数値目標	基準値 (時点)	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	目標値 (R6)
①満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合 (市民アンケート調査)	24.6% (2019/R1)	19.0%	17.2%	18.1%	21.2%	30.0%
②市内総生産額	3兆0222億円 (2016/H28) ※2	3兆1413億円 ※3	R6年12月 予定	R7年9月 予定	R8年9月 予定	3.3兆円以上 ※1

※1 「平成23年度しずおかけんの地域経済計算」に基づく数値。(総合計画記載値)

※2 「平成28年度浜松市の市民経済計算」に基づく数値。

※3 「令和2年度浜松市の市民経済計算」に基づく数値。

基本目標Ⅱ 子育て世代を全力で応援するまち

数値目標	基準値 (時点)	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	目標値 (R6)
①合計特殊出生率 ※4	1.51 (2018/H30)	1.41	1.37	1.35	1.27 (概数)	1.84
②子どもを生み育てやすい環境が整っていると思う人の割合 (市民アンケート調査)	21.5% (2019/R1)	24.3%	22.1%	21.4%	19.6%	50.0%

※4 住民基本台帳による日本人の年齢別女性人口を用いて算出。

基本目標Ⅲ 持続可能で創造性あふれるまち

数値目標	基準値 (時点)	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	目標値 (R6)	
①住んでいる地域が住みやすいと思う人の割合 (市民アンケート調査)	58.7% (2019/R1)	60.2%	60.9%	62.1%	59.5%	65.0%	
②健康寿命 ※5	男性	73.19歳 (2016/H28)	-	73.74歳 (2019年)	-	-	73.98歳
	女性	76.19歳 (2016/H28)	-	76.65歳 (2019年)	-	-	76.94歳

※5 厚生労働省研究班による政令指定都市・特別区の健康寿命データに基づく。

基本目標

I 「若者がチャレンジできるまち」

評価結果

B

指標達成率の平均

88%

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

No.	施策	指標達成率	評価
1(1)ア	「ものづくりのまち」の次代を担う成長産業へのチャレンジ支援	99%	B
1(1)イ	“やらまいか精神”が根付く地場産業の支援	—	—
1(1)ウ	地域が観光で稼ぐ力を強化することによる観光関連産業の主要産業化	84%	B
1(1)エ	農林水産業のスマート化、多角化などの推進	88%	B
1(1)オ	天竜材のブランド力強化及び流通拡大	99%	B
1(2)ア	海外の活力を取り込むビジネス展開支援	—	—
1(2)イ	新たなリーディング産業となる企業の誘致推進	100%	A
1(2)ウ	農林水産物の海外販路開拓	31%	C
1(3)ア	ベンチャー支援	100%	A
1(3)イ	創業希望者への相談・情報提供の推進	100%	A
1(3)ウ	新規就業者などへの支援	100%	A
1(4)ア	農地の流動化による有効利用の推進	80%	B
1(4)イ	多様な担い手の育成	95%	B
1(5)ア	浜松版スマートシティの実現	75%	B
1(5)イ	地域特性を活かしたエネルギー自給率の向上	—	—
2(1)ア	UIターン・地元就職支援	90%	B
2(2)ア	女性の就労支援	100%	A
2(2)イ	外国人の就労支援	46%	C
2(2)ウ	70歳現役都市・浜松の推進（高齢者の就労環境整備）	98%	B
2(2)エ	就職を希望する人への就労支援	100%	A
2(3)ア	働き方改革等の推進	99%	B

基本目標

I 若者がチャレンジできるまち

I-1 地元産業力の強化【産業部】

(1) イノベーションの連鎖を生み出す新産業の創出と既存産業の高度化

◆「ものづくりのまち」の次代を担う成長産業へのチャレンジ支援

産業イノベーション推進事業

◆“やрмаいか精神”が根付く地場産業の支援

地域産業振興支援事業

(2) 海外展開支援と集積による地域企業活性化

◆海外の活力を取り込むビジネス展開支援

海外ビジネス展開支援事業 産業イノベーション推進事業

◆新たなリーディング産業となる企業の誘致推進

企業立地推進事業 新・産業集積エリア整備事業

(3) ベンチャー支援、新規創業・就業のチャレンジサポート

◆創業希望者への相談・情報提供の推進

創業支援事業

【評価】

2021年10月に第2期はまつ産業イノベーション構想を策定し、本市の産業政策のビジョンを示すとともに、地域企業に対し、イノベーション推進支援・企業集積支援・市場創出支援など新産業創出に向けた事業を（公財）浜松地域イノベーション推進機構と連携して実施した。これにより地域企業の新事業展開や自動車の電動化への取組みが進展していると評価している。

また、企業立地決定件数及び新規雇用人数は、ともに目標値を上回る実績をあげており、企業立地の促進及び雇用機会の拡大の観点から、地域産業の振興及び経済の発展に大変寄与していると言える。

【今後の方針】

引き続き、（公財）浜松地域イノベーション推進機構と連携し、人口減少・高齢化に加え、カーボンニュートラルなどの新しい社会課題に着目しながら、新産業創出に向けた支援を行うとともに、自動車の電動化対応については、取組みが遅れている小規模・零細企業向けの充実を図り、サプライチェーンの基盤強化とともに事業承継支援を推進していく。

引き続き新たなリーディング産業の企業誘致活動を行うとともに、産業用地の整備やICT企業の誘致による地域産業のDX推進及び多様な雇用の場の創出を推進する。

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	単位	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
粗付加価値額（従業員10人以上の事業所）	百万円	675,689	680,418	685,181	689,978	694,807	699,671
		(2019年)	646,324	671,765	751,650	2025.7確定	—
新技術・新製品開発などの事業化件数【累計】	件	232	297	332	404	476	549
		(2018年度末)	328	387	435	473	—
自動車の電動化等への取組レベル向上社数【累計】	社	7	27	37	47	57	67
		(2018年度末)	53	69	102	134	—
展示会出展支援企業の成約件数	件	—	—	50	50	50	50
		—	—	47	38	98	—
海外ビジネスセミナー聴講者数	人	57	100	100	100	100	100
		(2019年)	156	140	98	126	—
見本市出展企業の成約件数	件	35	30	35	40	45	50
		(2018年度)	—(見本市中止のため出展なし)	—(見本市出展見送りのため実績なし)	—(見本市出展見送りのため実績なし)	—(見本市出展見送りのため実績なし)	—
海外展開企業数	社	130	131	132	133	134	135
		(2019年度末)	121	116	—(県調査中止)	—(県調査中止)	—
創業支援事業に伴う新規創業者数（法人＋個人）【累計】	人	1,075	1,785	2,155	2,535	2,925	3,325
		(2018年度末)	1,810	2,175	2,650	3,167	—
企業立地決定件数【累計】	件	96	136	156	176	196	216
		(2018年度末)	148	167	187	199	—

I-1 地元産業力の強化【産業部 観光・ブランド振興担当】

(1) イノベーションの連鎖を生み出す新産業の創出と既存産業の高度化

◆地域が観光で稼ぐ力を強化することによる観光関連産業の主要産業化

浜松・浜名湖 DMO 形成支援事業 観光客誘客事業

【評価】

新型コロナウイルスの影響により観光交流客数が大幅に減少したが、DMO である(公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューローを中心に、マイクロツーリズムなどの新たな観光需要の創出に取り組んだ。2023 年大河ドラマ「どうする家康」の放送や 2024 年浜名湖花博 20 周年記念事業を契機として、官民連携により浜松・浜名湖のブランドの確立に努め、観光誘客を実施した。

【今後の方針】

引き続き、DMO とともに観光マーケティングを実施し、ガストロノミーや農業・産業観光、花・自然環境など本市の魅力を生かした新たなコンテンツを造成するとともに、旅行者に合わせた戦略的な情報発信により観光誘客を促進する。ユニークベニユーの開発、コンベンションなどの MICE 誘致を推進する。観光関連事業者と連携し地域資源を魅力ある観光資源として磨き上げ、観光客の滞在期間の長期化や旅行消費額の向上を図り、地域が観光で稼ぐ力を強化する。

【重要業績評価指標 (KPI)】

指標名	単位	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
一人当たりの旅行消費額 (宿泊)	円	25,537	33,000	34,000	35,000	36,000	36,000
		(2018 年度)	22,588	27,342	27,719	30,497	—

I-1 地元産業力の強化【産業部 農林水産担当】

(1) イノベーションの連鎖を生み出す新産業の創出と既存産業の高度化

◆農林水産業のスマート化、多角化などの推進

もうかる農業推進事業	低コスト林業推進事業	林業成長産業化推進事業
木材需要拡大事業	水産業振興事業	

◆天竜材のブランド力強化及び流通拡大

森林管理事業	木材需要拡大事業	森林経営管理推進事業
--------	----------	------------

(2) 海外展開支援と集積による地域企業活性化

◆海外の活力を取り込むビジネス展開支援

もうかる農業推進事業

◆農林水産物の海外販路開拓

もうかる農業推進事業	木材需要拡大事業
------------	----------

(3) ベンチャー支援、新規創業・就業のチャレンジサポート

◆新規就業者などへの支援

担い手育成支援事業	林業従業者助成事業（補助金）
-----------	----------------

(4) 担い手第一主義の農林水産業振興

◆農地の流動化による有効利用の推進

農地の確保と有効利用事業	優良農地の確保推進事業	もうかる農業推進事業
担い手育成支援事業	国・県施行事業	かんがい排水整備事業
農道整備事業	農業基盤国庫補助事業	

◆多様な担い手の育成

もうかる農業推進事業	市民に親しまれる農業推進事業	漁港管理事業
水産業振興事業		

【評価】

農林業の新規就業希望者への支援により、計画を上回る就業者数の確保を図った。また、省力化等が図られる機械等の購入を支援するとともに、農林水産業へのスマート技術導入を促進し、生産性の向上に取り組んだ。

販売力の強化に向けた認知度向上においても、「浜松パワーフード宣言・応援宣言 認定事業者」数は計画を上回り、浜松市産農林水産物の魅力発信が図られた。

さらに、本市林業の強みである「FSC®森林認証」の面積は、計画に基づく適正な森林管理を行うことで毎年増加している。

【今後の方針】

農業分野では、「産業政策：持続可能で発展する農業の確立」と「地域政策：農村の保全・振興」の両輪により“もうかる農業”を推進する。林業分野では、「FSC®森林認証」のさらなる認知度と付加価値の向上を図り、育てる林業から売る林業への進化を目指す。水産分野では、水産資源の管理・保全を進めるとともに販売力強化を図り、水産業の安定的発展を推進する。

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	単位	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
スマート農業推進事業費 補助金実施事業数（累計）	件	新規	5	15	25	25	25
		(2022年度)	9	18	29	36	—
木材生産量	m ²	118,000	150,800	158,400	166,000	173,600	181,200
		(2018年度)	109,624	121,673	121,992	111,749	—
浜松パワーフード宣言・ 応援宣言 認定事業者数	事業者	60	200	300	400	500	1,300
		(2018年度)	192	240	265	1,284	—
農林漁家民宿 宿泊者数	人	431	700	750	800	850	900
		(2018年度)	297	363	446	551	—
FSC 認証材生産量	m ²	67,048	111,000	119,000	127,000	135,000	143,000
		(2019年度)	59,550	65,568	57,170	62,198	—
FSC 森林認証面積	ha	48,542	48,900	49,200	49,500	49,800	50,100
		(2019年度)	49,130	49,441	49,538	49,703	—
天竜材の利用拡大に向けた 連携を行う都市・団体数	都市・ 団体	3	4	5	5	5	6
		(2019年度)	5	5	5	5	—
輸出成約事業者数	事業者	14	16	18	20	22	24
		(2019年度)	7	13	7	7	—
認定新規就農経営体数 (累計)	経営 体	59	67	75	83	91	99
		(2019年度)	65	76	100	109	—
新規就業者(林業)支援対 象者(累計)	人	66	86	106	126	146	166
		(2019年度)	89	114	138	163	—
担い手への農地集積率	%	31	41	44	47	50	53
		2018年度	35	37	37	40	—
農業経営塾塾生(累計)	人	45	55	70	70	85	100
		(2019年度)	55	71	71	78	—
ユニバーサル農業シンポ ジウム参加者数(累計)	人	101	200	300	400	500	600
		(2019年度)	220	359	471	544	—

I-1 地元産業力の強化【産業部 スタートアップ推進担当】

(2) 海外展開支援と集積による地域企業活性化

- ◆新たなリーディング産業となる企業の誘致推進
首都圏ビジネス情報センター事業

(3) ベンチャー支援、新規創業・就業のチャレンジサポート

- ◆ベンチャー支援
スタートアップ誘致事業 スタートアップ支援事業

【評価】

これまでの間、すべての年度において計画値を上回る実績を残すことができた。
 スタートアップ支援事業では「ファンドサポート事業」、「スタートアップ成長支援事業」、「実証実験サポート事業」等を通じて、新たなスタートアップの創出や成長支援、資金調達環境の整備などに取り組んだ。
 スタートアップ誘致事業では「首都圏ビジネス情報センター」、「サテライトオフィス運営事業」等を通じて、地域産業に活力をもたらすスタートアップの誘致に取り組んだ。
 これらにより、スタートアップが生まれ・育ち・集まるスタートアップ・エコシステムの構築に向け、取り組みを前進させることができた。

【今後の方針】

引き続き、スタートアップ・エコシステムの構築に向け、各種取り組みを実施する。
 スタートアップの創出や成長支援に取り組むとともに、今後は、優れた技術を持つ地域企業との連携によるイノベーションの創出や高校生・大学生といった次世代人材の育成にも積極的に取り組んでいく。

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	単位	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
首都圏等から誘致したベンチャー企業数	社	4	4	6	8	10	12
		2019.9	25	19	19	14	

I-1 地元産業力の強化【カーボンニュートラル推進事業本部】

(5) 浜松版スマートシティの推進

◆浜松版スマートシティの実現

スマートシティ推進事業

◆地域特性を活かしたエネルギー自給率の向上

スマートシティ推進事業

【評価】

(株)浜松新電力や「浜松市スマートシティ推進協議会」等と連携し、「夢プロジェクトさくま」や「浜北区役所跡地等スマート化事業」など9つのスマートシティプロジェクトを創出した。また、全国トップクラスの日照時間を活かした太陽光発電を中心とした再エネの導入促進、家庭、事業活動における省エネの推進などの取組によりエネルギー自給率は向上した。

【今後の方針】

「浜松市カーボンニュートラル推進協議会」を通じて、地域内外の企業・団体・研究機関などと新たな脱炭素関連技術やサービス、プロジェクトの創出などに向け、シーズ・ニーズのマッチングやワーキンググループ・研究会活動、プロジェクトの実証などを実施する。また、(株)浜松新電力による再生可能エネルギーの地産地消とエネルギーの地域内経済循環を推進する。

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	単位	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
スマートシティプロジェクトの創出件数（累計）	件	8	10	10	12	12	12
		(2018年度)	9	9	9	9	—
エネルギー自給率	%	14.9	16.0	16.3	16.5	16.8	21.5
		(2018年度)	17.7	18.1	18.9	2025年5月頃	—

I-2 労働供給力の開拓【産業部】

(1) 次代の産業人材の確保

◆UIJターン・地元就職支援

雇用促進事業

(2) すべての人が活躍できる就労支援

◆女性の就労支援／◆外国人の就労支援／◆70歳現役都市・浜松の推進（高齢者の就労環境整備）

雇用促進事業

(3) 誰もが働きやすい雇用環境の整備

◆働き方改革等の推進

雇用促進事業

【評価】

人手不足が地域企業の課題となる中、若年者、女性、高齢者、外国人などの就労を促進するため、求職者側、企業側の両面に対する支援施策を実施するとともに、高齢者をはじめとする全ての労働者が働きやすい環境を整備するため、高齢者活躍・ワークライフバランス認証を推進した。これらの取り組みが、地域企業の産業人材の確保につながっていると評価している。

【今後の方針】

地域産業の持続的な成長のため、産業人材の確保に取り組むとともに、若年者、女性、高齢者、障がい者、外国人等、働くことを希望する方の活躍を促していく。また、人材の確保と定着を図るため、企業が推進するワークライフバランス等の取組を促進し、心身ともに健康を維持しながら、能力を発揮できる職場環境の実現していく。

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	単位	基準値 (時 点)	2020	2021	2022	2023	2024
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
マッチングアドバイザー 派遣事業による内定者数	人/ 年度	39	70	110	150	150	150
		(2018年度)	200	181	136	136	—
支援女性の就業率	%	41	42	44	46	48	50
		(2018年度)	43	44	50	55	—
インターンシップフェアへ の外国人留学生参加者数	人/ 年度	17	20	25	25	30	30
		(2019年度)	WEB開催の ため不明	40	30	14	—
高齢者活躍宣言事業所認 定数	社	52	55	90	110	120	130
		(2019年度末)	79	105	115	124	—
ワーク・ライフ・バランス等 推進事業所認証事業所数	社	88	95	120	130	140	150
		(2019年度末)	107	117	129	139	—

I-2 労働供給力の開拓【健康福祉部】

(2) すべての人が活躍できる就労支援

◆70歳現役都市・浜松の推進（高齢者の就労環境整備）

シルバー人材センター支援事業

◆就職を希望する人への就労支援

障害者就労支援事業

障害者自立支援給付事業

【評価】

高齢者の就労環境整備としてシルバー人材センターへの支援を行っている。コロナ禍において会員数の減少が見られたが、2023年度はセンターの積極的な広報活動もあり持ち直している。

障害者就労支援として、企業等に対し、能力に適した職務の選定や受入体制等についての継続的な助言及び支援を行うことや、企業等が障害者雇用における先進企業の取組み等を知る機会を設けることができた。また、障がいのある人が、実際に障がいのある人が働いている姿を見ることで、就労の意欲を高めることができた。

【今後の方針】

高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、高齢者の知識や技能を活かした就業活動を推進するシルバー人材センターに対し、活動支援を継続していく。

障がいのある人が地域でいきいきと安心して生活を送ることができるよう、就労支援施設等から一般就労への移行を推進する。

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	単位	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
シルバー人材センター 会員数	人	4,519	4,565	4,590	4,615	4,640	4,665
		(2018年度)	4,402	4,370	4,403	4,503	—
障害者就労支援施設から 一般就労への移行者数	人	150	174	189	204	219	234
		(2018年度)	140	176	179	241	—

基本目標

Ⅱ 子育て世代を全力で応援するまち

Ⅱ-1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援【健康福祉部 医療担当】

(1) 結婚・妊娠の希望を全力で応援

◆結婚・妊娠に対する前向きな機運の醸成

母子衛生教育事業

◆不妊に対する包括的な支援

母子医療費等支援事業

(2) 安心して出産・子育てできる環境づくり

◆母子の健康の保持・増進

妊産婦乳幼児健康診査事業

母子相談事業

母子訪問指導事業

母子予防接種事業

歯科保健事業

(3) 待機児童の解消と子育て支援の充実

◆子育てに対する不安や負担の軽減

母子医療費等支援事業

【評価】

不妊に悩む女性とパートナーに対し、不妊治療にかかる費用を助成することで、子どもを持ちたいという希望が叶うよう支援をした。また、思春期教室や未来のパパママ講座等で、若い世代の男女に早い時期から妊孕性について周知啓発をし、20歳～34歳に妊娠した人の割合は72%前後、特定不妊治療開始時平均年齢は概ね35歳前後で推移した。

妊産婦乳幼児健康診査や、はじめてのパパママレッスン、産後ケア事業を拡充するとともに、教室等における予約システムの導入やオンラインを活用した各種教室の開催、妊産婦のメンタルヘルスに対する支援等に取り組み、地域のネットワークを活用することで安心して出産・子育てができる環境づくりを推進し、妊娠・出産の支援に満足している人の割合は、概ね計画値通りの実績となった。

【今後の方針】

すべての妊婦・子育て世帯が安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠期から子どもが大人になるまでの様々なニーズに対応するため、関係機関と連携し、妊娠から出産・子育ての切れ目のない支援や、プレコンセプションケアの取り組みを一層推進する。

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	単位	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
全妊婦の内、20歳～34歳に妊娠した人の割合	%	74.4	75.2	75.4	75.6	75.8	76.0
		(2018年度)	71.1	71.7	71.5	72.4	—
特定不妊治療(初回)治療開始時平均年齢	歳	34.8	35歳未満	35歳未満	35歳未満	35歳未満	35歳未満
		(2018年度)	34.9	35.5	35.1	30.5	—
不妊治療費(先進医療費)助成者における妊娠届出率	%	49.9	—	—	—	—	50%以上
		(2019-2021平均)	—	—	—	—	—
妊娠・出産の支援に満足している人の割合	%	91.2	91.4	91.6	91.8	92.0	92.2
		(2018年度)	90.6	91.9	90.9	90.4	—

Ⅱ-1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援【こども家庭部】

(1) 結婚・妊娠の希望を全力で応援

- ◆結婚・妊娠に対する前向きな機運の醸成
子育て家庭支援事業

(3) 待機児童の解消と子育て支援の充実

- ◆保育施設・放課後児童会の拡充
私立保育所等助成事業
- ◆地域の子育て力の向上
子育て家庭支援事業
- ◆子育てに対する不安や負担の軽減

子ども・若者プラン推進事業	子育て家庭支援事業	発達相談支援事業
子育てワンストップサービス運用事業	家庭福祉支援事業	交通遺児等福祉事業等基金積立金
こども保護対策事業	児童福祉施設整備助成事業(補助金)	社会的養護推進事業
ひとり親家庭等支援事業	女性相談保護事業	子供の未来応援地域ネットワーク支援事業

【評価】

結婚を希望する方への出会いの機会の創出や結婚相談に取り組むとともに、結婚新生活に係る費用を支援し、経済的負担の軽減を図った。

「第2期浜松市子ども・若者支援プラン」に基づき、認定こども園や保育所等の創設、保育士確保対策などにより定員を確保し、2021年4月に保育所等利用待機児童数ゼロを達成し、2024年4月までゼロを維持している。

子ども医療費の助成、多子世帯の保育料軽減、訪問支援事業の拡充などにより、子育てに対する経済的負担や心理的不安の軽減を図った。

子ども食堂への助成や学習支援教室の実施など、子育て世帯を地域で支えるこどもの居場所づくりを支援した。

子育てワンストップ窓口「こども家庭センター」を市内7ヶ所に開設し、妊産婦や子育て世帯等への包括的な相談支援体制を構築した。

【今後の方針】

結婚支援や子育て支援など、少子化対策に資する事業を拡充し、国の動向や地域のニーズ・実情等を踏まえ、効果的な施策を庁内の幅広い分野が連携して推進する。

多様化する保育ニーズに対応した適切な定員を確保するとともに、保育士等の負担軽減や確保対策に取り組み、待機児童ゼロの維持や安全安心で質の高い幼児教育・保育環境を提供する。

こどもや子育てにやさしい社会づくりを推進するとともに、ライフステージに応じた切れ目のない支援に取り組み、安心して出産や子育てができる環境を整備する。

こどもや若者の多様なニーズを踏まえた、居場所づくりを支援する。

こども家庭センターが、地域の支援機関をはじめ関係機関と連携を更に強化し、支援を必要とするこどもや妊産婦、子育て世帯等に対して、様々な支援メニューに繋ぐなど伴走型の支援を実施し、当事者が抱えるリスクを早期に把握して問題の重篤化を防ぐ。

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	単位	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
保育所など利用待機児童数 (翌年度4月1日時点)	人	31	0	0	0	0	0
		(2019.4.1)	0	0	0	0	—
地域子育て支援拠点延べ 利用者数(年度)	人	321,846	369,500	369,500	369,500	369,500	369,500
		(2018年度)	111,746	191,143	235,541	265,466	—
子育て中の市民が「子育て しやすいと感じている」 と感じる割合	%	49.8	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0
		(2019年度)	47.0	37.5	33.1	31.3	—
学習支援事業の実施箇所数	箇所	17	21	21	26	29	33
		(2019年度)	21	21	26	28	—

Ⅱ-1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援【学校教育部】

(3) 待機児童の解消と子育て支援の充実

◆保育施設・放課後児童会の拡充

放課後児童会健全育成事業

◆子育てに対する不安や負担の軽減

就学援助事業（小学校費・中学校費） 発達支援教育推進事業

生徒指導事業

教育相談推進事業

【評価】

放課後児童会の定員を1,345人確保したが、ニーズの増加などから本年5月1日現在、202人の待機児童が生じている。待機児童解消に向けて、専用施設の整備や余裕教室の活用に加え、放課後児童会の新規開設や、夏休みにおける預かりなど、民間活力導入を促進するため、補助基準額を拡充した。

経済的困難を抱える家庭に対して、新入学に係る学用品をはじめ、学校生活で必要となる学用品や校外活動費、給食費等の支給を行い、適切な教育機会を確保した。

【今後の方針】

放課後児童会の利用ニーズは高い状況が続くと予測されることから、待機児童が発生している児童会を中心に余裕教室等の活用促進を図るとともに、民間活力の導入により子どもたちの安全・安心な居場所の確保に取り組む。

家庭の経済状況によらず全てのこどもに適切な教育機会を提供するため、引き続き就学に要する費用の支給や相談体制の充実に取り組む。

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	単位	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
放課後児童会利用待機児童数	人	471	0	0	0	0	0
		(2019.5.1)	343	261	190	202	—

Ⅱ-1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援【健康福祉部】

(3) 待機児童の解消と子育て支援の充実

◆子育てに対する不安や負担の軽減

障害児自立支援給付事業 障害児地域生活支援事業 重度障害児医療費助成事業
 障害児福祉手当等給付事業 障害児施設運営事業

【評価】

障がいのある子どもや発達に課題のあるこどもの増加により高まる障害児通所支援事業の利用ニーズに対応し、サービスを提供することができた。

障がい等のある子どもが適切な支援を受けられるよう、障害児支援を行う事業所に対して、人員配置や支援内容についての指導を行うことで事業所の質の向上を図った。

保育所等の職員に対して、発達障害のおそれのあるこどもの見立てや対応についての助言を行うことで、保育所等職員の資質向上を図った。

【今後の方針】

障がいのある子どもに対し、障がいの特性に応じた必要なサービスを適切に提供できるよう努める。

また、増加している医療的ケア児や重症心身障害児がライフステージに応じた支援が受けられるよう、関係機関との連携を図る。

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	単位	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
設定なし							

Ⅱ-2 「創造都市・浜松」を担う次代の育成【市民部 文化振興担当】

(1) 第2・第3のノーベル賞受賞者の育成

◆子どもの才能を伸ばす特別課外講座の充実

生涯学習機会提供事業

◆子どもの興味を引き出す機会の充実

図書館運営事業

生涯学習施設運営事業

芸術文化人材育成事業

学習会開催等連携事業

(2) 地域の力を活かした市民総がかりのひとづくり

◆学校・家庭・地域の連携による学校づくり

文化財活用地域連携事業

【評価】

産学官連携による特別課外講座（浜松 IT キッズプロジェクト、ダヴィンチキッズプロジェクト）、ワールド・ロボット・オリンピアド全国大会（2022年）の開催、アクトシティ音楽院事業、こども音楽鑑賞教室、学校図書館運営支援、移動博物館、文化財の次世代継承活動への支援を実施するなど、多様化するこどもたちの学習ニーズ、興味に応じた学習機会を提供した。

【今後の方針】

今後も、特別課外講座の開催、音楽に触れる機会の提供、文化財を保護・継承する人材の育成、学習の拠点となる施設でのこどもの興味を引き出す取り組み等を推進し、地域や学校と連携し、今後の社会を担うこどもたちの学習機会の充実を図っていく。

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	単位	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
全国レベルのコンテスト 入賞者数	人	12	14	18	22	33	34
		(2018年度末)	17	21	30	41	—
生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思う人の割合	%	33.1	33.0	33.0	34.0	34.0	35.0
		(2019年度)	30.5	32.7	29.2	29.5	—

II-2 「創造都市・浜松」を担う次代の育成【学校教育部】

(2) 地域の力を活かした市民総がかりのひとづくり

◆学校・家庭・地域の連携による学校づくり

コミュニティ・スクール推進事業 はままつ人づくりネットワーク推進事業 夢育やらまいか事業
理科・ものづくり教育支援事業

◆郷土愛をはぐくむ教育の実践

夢育やらまいか事業

◆子ども一人ひとりに応じた支援体制の整備

不登校児支援推進事業 教職員管理運営経費 生徒指導事業
外国人子供教育支援推進事業 発達支援教育推進事業 教職員研修事業

【評価】

2024年度までに全ての市立小中学校がコミュニティ・スクール導入校となり、家庭や地域と連携したその学校ならではの特色ある教育活動などにより、郷土を愛するこどもの育成が図られている。

まなびの教室の拡充(校内50か所、校外10教室)をはじめ、発達支援教室の拡充(117教室)や初期日本語指導拠点校の設置(2か所)に加え、不登校児童生徒の孤立や学びの保障に向けたオンラインの活用など、多様な教育的ニーズに応じた支援体制を整備した。

【今後の方針】

各学校運営協議会の質的向上と自立的な運営に向け、引き続き関係者への研修や各学校への指導・助言などにより、学校・家庭・地域が連携・協働した学校運営を推進する。

支援を必要とするこどもの多様なニーズに応じた学びや支援の充実に向け、引き続き、まなびの教室や発達支援教室の増設を図るほか、外国人児童生徒への日本語と母語の両輪による支援や各種支援員・指導員等の配置、ICTの活用などにより、個別最適な学びの機会を確保する。

【重要業績評価指標 (KPI)】

指標名	単位	基準値 (時 点)	2020	2021	2022	2023	2024
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)導入校数	校	24	50	72	96	120	144
		(2019年度)	51	76	130	140	—
保護者や地域の人材を活用した授業を実施した教員の割合	%	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0	90.0
		(2019年度)	80.4	76.9	82.1	82.8	—
自分が住んでいる地域が好きな子どもの割合	%	91.5	92.0	93.0	94.0	95.0	95.0
		(2019年度)	92.7	92.6	92.8	93.3	—
校内まなびの教室の設置及び指導員の配置	箇所	15	20	25	25	30	30
		(2019年度末)	20	25	30	45	—
校外まなびの教室の設置	箇所	8	8	9	10	10	10
		(2019年度末)	8	9	9	10	—
個別対応専任指導員の配置・派遣	人工	3	5	5	6	7	7
		(2019年度末)	5	5	5	5	—
発達支援教室(1教室につき1人の支援員を配置)	教室	92	97	102	107	112	117
		(2019年度)	97	101	107	112	—

Ⅱ-2「創造都市・浜松」を担う次代の育成【こども家庭部】

(2) 地域の力を活かした市民総がかりのひとづくり

◆学校・家庭・地域の連携による学校づくり

市立幼稚園特色化推進事業

【評価】

幼稚園、家庭及び地域が連携を図り、伝統文化や自然体験など地域の特色を生かした園づくりに取り組んだ。

また、コロナ禍においては、規模を縮小しながらも、各園が活動を工夫して取組を継続した。

こうした活動により、こどもたちが地域に見守られている安心感や地域に対する愛着を育むことができた。

【今後の方針】

地域資源を活用した体験活動など、各園ならではの特色ある園づくりを行うことで、こどもたちが地域への愛着や誇りを持ち、将来に夢や希望を持つことができるよう、幼稚園、家庭及び地域が連携・協働して、地域全体でこどもたちの育ちを支えていく。

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	単位	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
設定なし							

Ⅱ-2 「創造都市・浜松」を担う次代の育成【企画調整部】

(2) 地域の力を活かした市民総がかりのひとづくり

◆子ども一人ひとりに応じた支援体制の整備

多文化共生推進事業

【評価】

外国人のこどもの就学促進のため積極的に取り組んでいるが、対象となる児童生徒の増加にとどまらず、定住化や多国籍化が進展し、就学に向けて抱える課題が多様化かつ複雑化している。

指標である不就学ゼロ状態を維持するためには、よりきめ細かな支援の継続実施が必要である。

【今後の方針】

教育委員会や外国人学校等の関係機関と引き続き連携し、就学に課題を抱える外国人のこどもの学びの場の確保や、教育機関等への就学につなげる支援に継続して取り組み、外国人のこどもの不就学を生まない取組（浜松モデル）を推進する。

【重要業績評価指標（KPI）】

指標名	単位	基準値 (時 点)	2020	2021	2022	2023	2024
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
外国人の子どもの不就学者数	人	2	0	0	0	0	0
		(2019年度)	2	1	4	2	—

基本目標 Ⅲ「持続可能で創造性あふれるまち」

評価結果 **B** 指標達成率の平均 **84%**

★評価基準： 指標達成率100%…A、60%以上100%未満…B、60%未満…C

No.	施策	指標達成率	評価
1(1)ア	地域防災の推進	95%	B
2(1)ア	多様な文化や創造的な活動に触れる機会の創出	100%	A
2(2)ア	ブランドの確立	61%	B
2(2)イ	国内外からの交流人口の拡大	46%	C
2(2)ウ	ふるさと納税の受入強化	81%	B
2(3)ア	まちなかのにぎわい創出	75%	B
2(3)イ	中山間地域のにぎわい創出	98%	B
3(1)ア	市民協働のまちづくりの推進	—	—
3(1)イ	多様性を生かした市民主体の地域社会の形成	81%	B
3(2)ア	医療・介護・予防・住まい・生活支援など切れ目ないサービス提供	100%	A
3(2)イ	70歳現役都市・浜松の推進（高齢者の社会参加支援）	80%	B
3(3)ア	市民一人ひとりの予防や健康づくりの推進	77%	B
4(1)ア	集約型の都市づくり	100%	A
4(1)イ	拠点を結ぶ交通ネットワークの形成	—	—
5(1)ア	持続可能な市民サービス提供体制の構築	—	—
5(1)イ	広域連携の推進	100%	A
5(2)ア	SDGs達成に向けたステークホルダーの活動推進	79%	B
5(2)イ	デジタルファーストによる都市づくり	100%	A
5(2)ウ	温室効果ガス排出削減	—	—